

WCS 「職業問題と教育環境の改善(IT教育支援)」

R.ID 第3860地区 フィリピン マンダウエ・イースト RC

海南東ロータリークラブ
海南西ロータリークラブ



フィリピンが抱えている貧困問題は、生活環境や人口問題、教育に至るまで、大きな影響を与えています。私たちは、過去において、水対策や出産・健康管理、デイケアセンターなど取り組んできましたが、将来的な改善においては、まだまだ、不十分です。今後は、時間がかかりますが、根本的な貧困からの脱却に伴う、教育・就業といった人材育成が必要です。



私たちが支援するフィリピン・マンダウエ市では、貧困家庭が多く、市の財政も少ないことから、教育環境の整備が遅れており、学校設備も充実していません。また、親の子供に対する教育においては、目先の生活に追われる中で、将来に対する教育の考え方が乏しく、貧困から脱却できない等の悪循環に陥る問題を抱えています。このため、

マンダウエ・イーストロータリーRCでは、将来の職業、ビジネスに活かせる技術の習得が急務であると考えており、行政や RCC と協力して、将来を見据えた子供に対する教育。特に今後の社会で重要となる IT 教育に着目し、推進しています。

このため、今年度の計画は、海南西 RC にもジョイ



ントしていただき、IT教育を行うためのパソコン導入を進めました。現在、絶対数が不足しており、現地では、高額な装置となるため、貧困層の子供達への IT 教育の実現には WCS の支援が必要となります。当クラブも含め、近隣のロータリークラブのメンバーには IT 企業も多く、



また、IT 企業組合、協会等で広く協力を呼びかけたところ、賛同を得られました。また、和歌山税関(無税)及び近畿経済産業局(輸出規制)の了解も得られ、同時にフィリピン側の受け入れについても問題なく手続きでき、合計 60 台のパソコンを和歌山港から送ることができました。

具体的には、

- 1) 日本の中古パソコンを現地の小学校等へ送り、設置し、IT 教育を実施する。
- 2) IT 教室の設置、整備を行う。
- 3) IT 教育の実施にあたっては、現地のロータリアン、協力団体、組織で知識のある者が教育にあたる。
- 4) 親の子供達に対する教育目的、意欲の啓蒙を行う。の事業を実施しました。

